

# 目 次

## I 会議概要

(1) 会議の名称 .....	1
(2) 開催期間 .....	1
(3) テーマ .....	1
(4) 会場 .....	1
(5) 主催 .....	1
(6) 使用言語 .....	1
(7) プログラム .....	2
(8) 会員都市位置図 .....	5

## II 会議内容

### 1 市長会見および開会式

(1) 市長会見 .....	6
① 主催者の言葉 .....	6
② 参加都市市長および代表団長の言葉 .....	6
(2) 開会式 .....	9
① 開会宣言、参加都市および代表団長の紹介 .....	9
② 開会の言葉 .....	10

### 2 全体会議

(1) 議長の選出 .....	12
(2) 議長の言葉 .....	12
(3) 全体テーマ発表 .....	13
① ウルムチ市 .....	13
② 大連市 .....	17

### 3 分科会

#### (1) 社会福祉

① 宮崎市 .....	21
② 大分市 .....	24
③ 上海市 .....	28

#### (2) 都市インフラの整備

① 釜山広域市 .....	32
② 広州市 .....	36
③ ウラジオストク市（原稿提出のみ） .....	42

#### (3) 新産業の振興

① バンコク市 .....	45
② 福岡市 .....	50
③ 鹿児島市 .....	54
④ 北九州市 .....	57
⑤ 佐賀市 .....	61

### 4 閉会式

#### (1) 福岡市（アジア太平洋都市サミット事務局）の提案

「今後のアジア太平洋都市サミットの運営」 .....	64
----------------------------	----

#### (2) 国連ハビタットの発表 .....

#### (3) ウルムチ宣言採択、次期主催都市決定、旗渡し式 .....

#### (4) 次期主催都市代表の言葉 .....

#### (5) 閉会の言葉 .....

70

III	参加者名簿	71
IV	ウルムチ宣言	77
V	サミット規約	79
VI	参考資料	83
	(1) 実施状況	83
	(2) 各都市発表パワーポイント版資料	85
	(3) 新聞報道記事	115

# I 会議概要

- (1) 会議の名称  
第7回アジア太平洋都市サミット
- (2) 開催期間  
2006年8月8日(火)～8月10日(木)
- (3) テーマ  
全体テーマ：「調和のとれた都市の発展」  
分科会1：「社会福祉」  
分科会2：「都市インフラの整備」  
分科会3：「新産業の振興」
- (4) 会場  
新疆鴻福大飯店  
中国新疆乌鲁木齐市黄河路28号
- (5) 主催  
中国新疆乌鲁木齐市
- (6) 使用言語  
4か国語（中国語、英語、日本語、韓国語）

8月7日(月)

20:30~21:00	<p>新疆ウイグル自治区知事と参加都市代表団長の会見</p> <p>新疆鴻福大飯店 3階 銀の間 (Silver Hall) にて</p> <p>歓迎の辞...新疆ウイグル自治区主席 司馬義鉄力瓦爾地 (Mr. Simayi Tieliwaerdi)</p>
21:00~22:00	<p>第7回アジア太平洋都市サミット参加都市代表団長歓迎晩餐会</p> <p>新疆鴻福大飯店 3階 黄金の間 (Golden Hall) にて</p> <p>主催者...ウルムチ市長 乃依木亜森 (Mr. Naiyimu Yasen)</p>

8月8日(火)

10:30~11:00	<p>市長会見</p> <p>主催者の言葉...ウルムチ市長 乃依木亜森 (Mr. Naiyimu Yasen)</p> <p>参加都市市長 (代表者) の言葉</p> <p>記念品交換</p>
11:00~11:30	<p>開会式</p> <p>開会宣言</p> <p>参加都市および代表団長紹介</p> <p>開会の言葉...ウルムチ市長 乃依木亜森 (Mr. Naiyimu Yasen)</p>
11:30~	参加都市紹介パネル展
12:00~12:30	参加都市代表者記念撮影
13:30~14:30	昼食
15:30~17:30	<p>全体会議</p> <p>議長選出</p> <p>議長挨拶、日程の説明...ウルムチ副市長 白樺 (Mr. Bai Hua)</p> <p>全体テーマ発表「調和のとれた都市の発展」</p> <p>ウルムチ市：「調和のとれた都市の構築、美しい未来の建設」</p> <p>ウルムチ市常務副市長 張鴻 (Mr. Zhang Hong)</p> <p>大連市：「環境にやさしい都市を目指す大連市」</p> <p>大連市副市長 戴玉林 (Mr. Dai Yulin)</p> <p>分科会1 「社会福祉」</p> <p>宮崎市：「社会の福祉事業～宮崎市の取組み ～市民と行政との協働によるまちづくり～」</p> <p>宮崎市長 津村重光</p>

	<p>大分市：「『安心・健康モデル都市おおいた』の実現をめざして」 大分市長 釘宮磐</p> <p>上海市：「上海市の高齢者福祉事業の総合的な発展と促進 ～市政府による指導と地域の参加～」 上海市政府副秘書長 姚明宝 (Mr. Yao Mingbao)</p>
17:30～17:45	<p>コーヒーブレイク</p> <p>民族舞踊、ラクダのパフォーマンス、ウイグル自治区の名産紹介(フルーツ、菓子)</p>
17:45～19:00	<p>分科会2 「都市インフラの整備」</p> <p>釜山広域市：「U-City プロジェクトの推進」 釜山広域市副市長 李京勛 (Mr. Lee Kyung Hoon)</p> <p>広州市：「広州市の都市インフラの整備と発展」 広州市副市長 陳明德 (Mr. Chen Mingde)</p>
20:30～22:00	<p>歓迎レセプション</p> <p>グランド・バザール (International Grand Bazaar) にて 歓迎の言葉…中国共産党新疆ウイグル自治区常務委員会委員、 中国共産党ウルムチ委員会書記長 楊剛 (Mr. Yang Gang)</p> <p>民族舞踊鑑賞</p>

## 8月9日 (水)

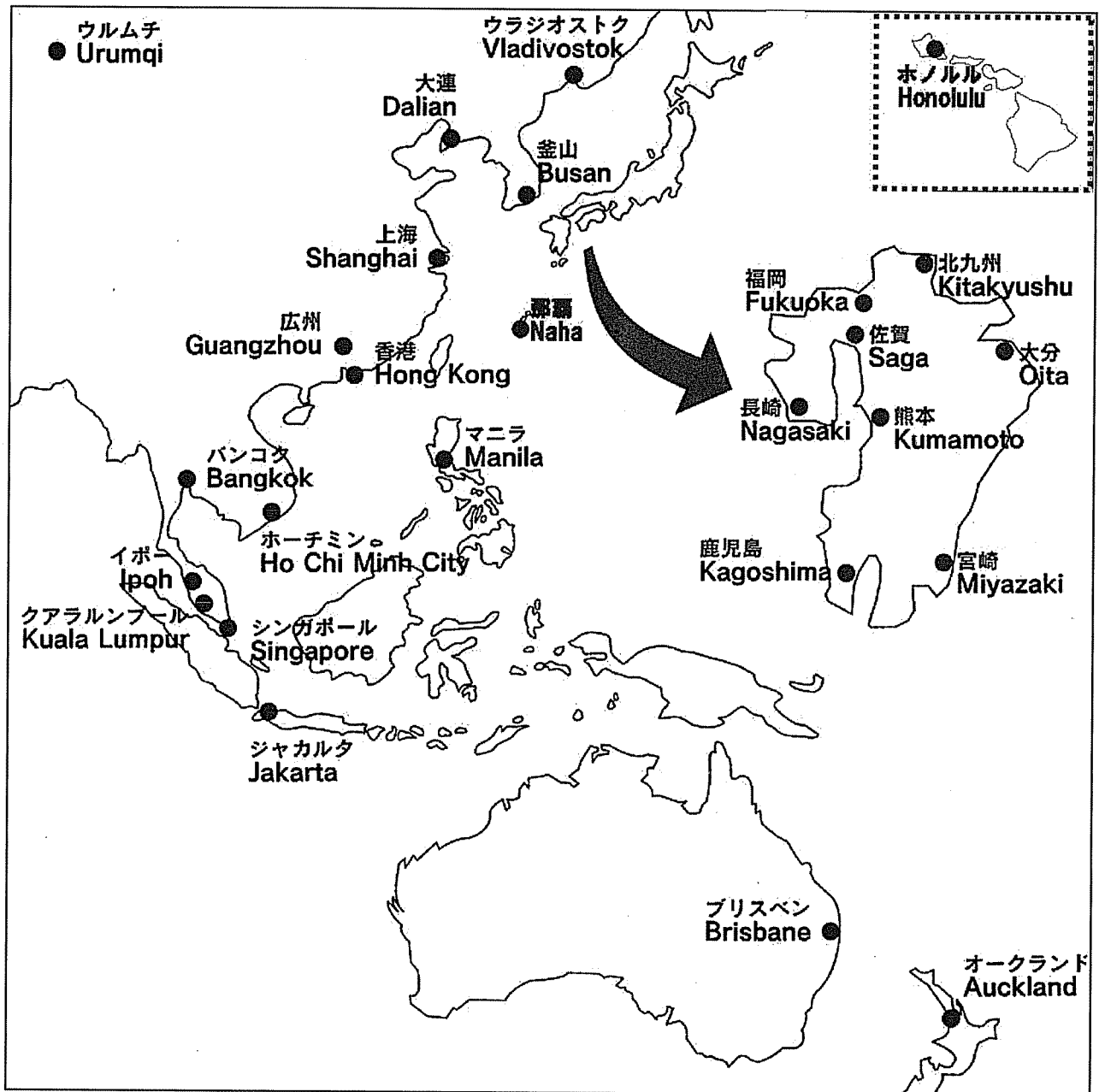
10:30～12:00	<p>分科会3 「新産業の振興」</p> <p>バンコク市：「バンコク市の生活関連産業の振興」 バンコク市国際部部長 クリエンポル・パドハナラト (Mr. Kriengpol Padhanarath)</p> <p>福岡市：「福岡の新たな産業の振興」 福岡市副市長 山野宏</p> <p>鹿児島市：「新産業の振興」 鹿児島市長 森博幸</p> <p>北九州市：「北九州市の都市戦略～新産業の創出・育成を目指して」 北九州市副市長 鈴木茂</p> <p>佐賀市：「新産業の振興」 佐賀市長 秀島敏行</p>
-------------	--

12:00～12:15	コーヒーブレイク
12:15～13:30	<p>閉会式</p> <p>福岡市（アジア太平洋都市サミット事務局）の提案 「今後のアジア太平洋都市サミットの運営」…福岡市副市長 山野宏</p> <p>国連ハビタット（国際連合人間居住計画）の発表 …国連ハビタット福岡事務所（アジア・太平洋地域事務所）調整官 薄俊也</p> <p>ウルムチ宣言採択</p> <p>次期主催都市決定</p> <p>サミット旗渡し式</p> <p>次期主催都市代表の言葉…大連市副市長 戴玉林（Mr. Dai Yulin）</p> <p>閉会の言葉…ウルムチ副市長 白樺（Mr. Bai Hua）</p>
13:30～14:30	昼食
15:00～20:00	視察
15:00～16:00	新疆ウイグル自治区博物館
16:00～20:00	天山天地
20:30～21:30	<p>送別レセプション：新疆鴻福大飯店 3階 黄金の間（Gold Hall）にて</p> <p>主催者の言葉…ウルムチ市長 乃依木亜森（Mr. Naiyimu Yasen）</p> <p>次期実務者会議開催都市代表の言葉…北九州市助役 鈴木茂</p>

## 8月10日（木）

9:00～17:00	視察
9:00～13:30	トルファン視察（交河故城、カレーズ、ぶどう園）
13:30～14:30	昼食：西洲大飯店にて
14:30～17:00	トルファン視察（火焰山）
19:30～21:00	夕食

(8) 会員都市位置図





# Ⅱ 会議内容

## 1. 市長会見、開会式

### //// (1) 市長会見 //////////////////////////////////////

#### ① 主催者の言葉

##### 【乃依木亜森 ウルムチ市長】

開幕式に先立って、ウルムチ市の概況を簡単ご紹介させていただきます。

ウルムチ市は人口235万人（内12万農村人口）の都市で、47民族から構成されています。主な特徴は次の三つあります：

1. 鉱物資源が豊かです。特に石炭、石油・天然ガス、鉄鋼など鉱山資源が豊富にあります。
2. 観光資源が豊かです。民族風情、自然景色など観光資源が豊富で、一例として、市の西南30キロにアジア大陸の中心点があります。
3. 貿易が盛んな地域です。人口13億人を誇る西アジア及び中心アジア地域の中央に位置し、昨年の年間取引額が30億米ドルに達しています。

そのほか、交通が便利で、中国国内の主要都市と空路で結ばれ、海外の10都市とのチャーター便が開設されています。鉄道、道路も整備されています。

本サミットの開催中、是非皆様にウルムチを歩いて、見て、話していただき、今後、沢山の企業や観光客、友人の方々をお連れしていただきたいと思っております。私は今年の1月に市長に就任する前は、新疆の旅遊局長を務めておりました。本日同席している者を紹介します。こちらは常務副市長の張鴻で、こちらは政府秘書長の魏毅です。時間の関係で、ウルムチ市の紹介はここまでとさせていただきます。

皆様方に記念品をご用意いたしましたので、是非お受け取りいただきたいと思っております。新疆のシルクと私の故郷——トルファン製のお酒です。

#### ② 参加都市市長および代表団長の言葉

##### 【クリンプ・パドハナラス バンコク市国際部部長】

バンコク市長が他の公務でこのサミットに出席できないことをお詫びすると共に、会議開催のご成功を心からお祈りします。

##### 【李京勳 釜山市副市長】

釜山は国際的な観光、会議・展示会の中心都市となることを市政の目標としていますが、ウルムチも似ている点があると思われました。皆様方とお目にかかりうれしく存じます。

**【戴玉林 大連市副市長】**

北方の沿海開放都市から、中国国内で最も西側の開放都市に来ることができまして、うれしく思います。ウルムチ市の暖かい歓迎に深く感銘を受けました。会議の成功をお祈りします。

**【山野宏 福岡市副市長】**

本サミットの事務局を担当しております。今回はサミットをウルムチで盛大に開催していただき、成功裏に終わるよう全力を尽くしていきたいと存じます。また、これからもこの会議を長く続けていくために努力をして参りたいと思っております。

**【陳明德 広州市副市長】**

本サミットに参加でき、皆様と知り合う機会が得られたことをうれしく思います。サミット開催の成功を祈念いたします。

**【森博幸 鹿児島市長】**

サミットに喜んで参加させていただいております。皆様との友情を育むこと、そして各都市の発展を心より祈っております。

**【鈴木茂 北九州副市長】**

初めて美しいウルムチ市に参りましたが、皆様から歓迎を受けまして、幸せな気持ちでおります。来年サミット実務者会議が北九州で開催される予定です。皆様のご来訪を心待ちして、準備をしております。

**【津村重光 宮崎市長】**

ウルムチ市は市民生活が大変活気のあるにぎやかなところで、感心しております。街づくりや経済・観光政策、福祉などについて勉強させていただきたいと思えます。

**【釘宮磐 大分市長】**

国レベルでは外交がありますが、現在は都市間の交流が活発になり、国との交流にさらに大きな効果をもたらしておりますので、今回のサミットの役割は大変大きいと考えております。

**【秀島敏行 佐賀市長】**

初めてウルムチを訪ねました。おもてなしをありがとうございました。サミットで勉強すると共にウルムチの良いところを見せていただき、佐賀に持ち帰りたいと思えます。

**【姚明宝 上海市人民政府副秘書長】**

美しいウルムチ市を再訪する機会が得られ、大変うれしく思います。上海市長に代わり市長の皆様方にごあいさつ申し上げると共に、会議開催のご成功をお祈りします。

**【張鴻 ウルムチ副市長】**

皆様、ウルムチ市へようこそいらっしゃいました。

**【魏毅 ウルムチ市政府秘書長】**

市長と副市長を助け、皆様方にとって満足のいただける会議となるように全力を尽くしたいと考えております。

**【ムホジノフ ドウシャンベ市副主席】**

サミットにご招待いただき、ありがとうございます。ウルムチとはずっと前から友好関係を築き上げておりますが、本会議を通じて、その他の都市とも友好関係を作っていきたいと思っております。会議開催のご成功をお祈りします。

**【薄俊也 国連ハビタット駐日本福岡事務所調整官】**

サミットに参加することができ大変光栄に思います。国境を越え、一人一人が協力して、幸せな生活が出来る街づくりを皆様と一緒に進めて行きたいと思っております。

**【藤井利治 福岡アジア都市研究所副理事長】**

本会議の開催を引き受けていただきましたアセン市長にお礼を申し上げます。また、アジアの多くの都市にこの会議へご出席いただきまして、ありがとうございます。本会議が成功裏に開催されますよう、よろしくお願いいたします。

**【乃依木重森 ウルムチ市長】**

皆様、ありがとうございました。これから、サミットの開会式に移ります。よろしくお願いいたします。

## //// (2) 開会式 //////////////////////////////////////

### ① 開会宣言、参加都市および代表団長の紹介

#### 【司会者】

ただいまより、第7回アジア太平洋都市サミットを開催致します。

まず、第7回アジア太平洋都市サミットに参加されている各代表団の団長をご紹介します。

会議に参加されている都市とその代表団長は次の通りです：

タイ国バンコク市国際部部長 クリンプ・パドハナラス様

韓国釜山市副市長 李京勳様

中国大連市副市長 戴玉林様

日本国福岡市副市長 山野宏様

中国広州市副市長 陳明德様

日本国鹿児島市長 森博幸様

日本国北九州市副市長 鈴木茂様

日本国宮崎市長 津村重光様

日本国大分市長 釘宮磐様

日本国佐賀市長 秀島敏行様

中国上海市政府副秘書長 姚明宝様

中国新疆ウルムチ市長 乃依木亜森様

なお、ウルムチの友好都市の代表として、タジキスタンのドゥシャンベ市副主席、ムホジノフ様も本日の開幕式に出席なさっています。また、国連ハビタット福岡事務所の調整官薄俊也様、そして藤井利治様を団長とするアジア太平洋都市サミット事務局の皆様も本日の会議に参加されています。

皆様、もう一度盛大な拍手で、第7回アジア太平洋都市サミットにご参加になる代表団の皆様をお迎えください。

次に、第7回アジア太平洋都市サミットの主催都市の代表として、乃依木亜森中国新疆ウルムチ市長より歓迎の言葉をいただきます。

## 第7回アジア太平洋都市サミット開会の言葉

乃依木亜森 ウルムチ市長

ご臨席の皆様

本日は、第7回アジア太平洋都市サミットに参加されるご来賓の皆様や各都市の代表の方々を我が美しいウルムチにお迎えすることができ、大変うれしく思っております。中国新疆ウルムチ市人民政府ならびに各民族合わせて235万人にのぼる市民を代表して、皆様のご来訪に熱烈な歓迎の意を表明致しますと共に、心よりご挨拶を申し上げたいと存じます。また、本サミットの開催にあたり、国連ハビタット及び福岡アジア都市研究所の方々に多大なご尽力とご支援を頂きましたことに、深く御礼申し上げます。本市でのアジア太平洋都市サミットの開催は、ウルムチ市とアジア太平洋地域の各都市間の交流と連携の強化に、大きな役割を積極的に果たすことになると確信しております。

ウルムチ市は中国新疆ウイグル自治区の区都で、アジア大陸の中心に位置しており、中国の西部対外開放における重要なゲートウェイです。「ユーラシア大陸ブリッジ」西側の「橋頭堡」的な都市でもあります。歴史的には、ウルムチはシルクロード新北道の重要地点として、東西経済と文化の交流拠点の機能を果たし、中原文化、インド文化、イスラム文化とヨーロッパ文化を融合させた都市でありました。今日、ウルムチは、自然資源が豊かで、ビジネスや観光環境が整っており、多様な民族風情が味わえる中国西部の魅力的な新興都市として注目を集めています。ウルムチ市の総面積1.2平方キロで、そのうち、市街化区域の面積は235平方キロです。7つの区と1つの県を管轄しています。また、市内には、国家級開発2箇所と国家級輸出加工区を1箇所設立されております。

ウルムチ市は、GDPやその他各経済指標において、新疆地区の中で3分の1以上のウェートを占めています。1人当たりのGDPは3,000米ドル超で、中国西部の首府都市や省都の中、有数の総合競争実力ランキングを誇っております。

21世紀に於いても、ウルムチ市は中国政府西部大開発の歴史的時機をつかみ、「アジアの中心都市、国際都市、ビジネス・観光都市、住みよい都市」を目標とし、「自強奮進、開放包容、誠信和諧」（自ら励んでやまらずに邁進する、開放で包容力を持つ、誠意・調和のある）という都市精神のもと、「真情都市、熱情都市、激情都市、温情都市」（誠心誠意で、情熱的で活発な、思いやりのある都市）の建設をめざし、「小康社会」（ややゆとりのある社会）の目標を率先して全面的に実現させようと努力していきます。

「調和のとれた都市の発展」をテーマとする本サミットは、必ずアジア太平洋地域各都市の健全、迅速かつ調和のとれた発展を大きく促進する役割を果たしていくことと信じています。

第七回アジア都市サミットの成功を心から祈願いたしております。各都市の首脳及び代表の皆様方のウルムチ滞在中のご健勝を祈り、私の挨拶とさせていただきます。

皆様、どうもありがとうございました。

## 【司会者】

乃依木亜森市長、ありがとうございました。

ご臨席の皆様、友人の皆様、この秋の香りが爽やかな、実りの多い美しい季節に、アジア太平洋都市サミットに出席される皆様をこの地にお迎えすることができ、大変喜ばしく思っております。皆様のご来訪は、世界で海から一番遠いこのウルムチ市を明るく輝かせ、大変光栄に存じます。先ほど、乃依木亜森市長が、ウルムチ市政府と各民族からなるすべての市民を代表して、皆様のご来訪に対し熱烈な歓迎を表し、また、ウルムチの概要についても簡単にご紹介申し上げました。これからの2日間にわたる会議を通じて、相互理解を深め、経済、社会の発展など多分野における交流や連携を推進できることを心から願っております。

次に、第7回アジア都市サミットに参加される各都市のパネル展示及び中国新疆の民芸品の見学に移ります。また、各都市の代表団長に記念撮影へのご協力をお願い申し上げます。撮影は今日の午前12:10にここで行われますが、事前に民族衣装に着替えて頂きますので、時間の余裕を見てお集まりくださるよう、お願い申し上げます。

第7回アジア都市サミットの開会式はこれで無事に終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

## 2. 全体会議

### //// (1) 議長の選出 //////////////////////////////////////

#### 【司会者】

第7回アジア太平洋都市サミット主催者の中国新疆ウルムチ市長、乃依木・亜森（ナイム・アセン）の推薦により、ウルムチ市副市長の白樺氏を会議の議長として選出させていただきたいと思えます。

この推薦案に何かご意見はおありでしょうか。おありでないようでしたら、拍手をもって承認とさせていただきますたく存じます。（拍手）

では、選出されました議長に、これからの会議進行をお願いしたいと存じます。

### //// (2) 議長の言葉 //////////////////////////////////////

#### 【議長】

ご臨席の皆様、友人の皆様

第7回アジア太平洋都市サミットの議長に選出されたことを大変光栄に思っております。ありがとうございます。

今日、各国とも都市化が急速に進んでいます。人類は都市化による物的恩恵を受けておりますが、一方で、都市の健全な発展を妨げる課題にも直面せざるを得なくなり、効果のある解決案を策定する必要が出て参りました。調和のある都市の発展は、各国の都市首脳にとって、力を入れる重要目標になってきています。今回のサミットは「調和のとれた都市の発展」を全体テーマとし、「社会福祉」、「都市インフラの整備」、「新産業の振興」を分科会テーマとしてかかげ、代表の皆様に意見を発表していただき、アジア各都市の健全かつ調和ある発展を推進していくことを計画しております。

次に、各都市の代表の方々による発表に移ります。まずは全体テーマ「調和のとれた都市の発展」についての発表です。中国新疆ウルムチ市常務副市長の張鴻様からお願いいたします。

## ウルムチ市

### ◆調和のとれた都市の構築、美しい未来の建設◆

張鴻 ウルムチ市常務副市長

調和のとれた都市建設は、人間が常に追い求めてきた社会理念です。グローバル化と情報化が広がる社会の到来とともに、世界各国の都市化も急速に進んでいます。人間は、都市が達成した物質的な豊かさを享受する一方で、環境汚染、交通渋滞、生態系の破壊、資源の浪費、伝染病の蔓延を効果的に抑制あるいは回避する方法の確立など、様々な深刻な問題に直面せざるを得ない状況に陥っています。世界各国は、住民の生活の質の向上、子孫が生き延びる権利、持続可能な都市開発を確保する都市開発手法の確立に努める必要があります。

ウルムチ市は新疆ウイグル自治区の区都です。地理的にアジア大陸の中心に位置しており、中国北西部の開発に不可欠な「ゲートウェイ」の役割を担うとともに、第2ユーラシア鉄道の中国西部地区における中心地でもあります。ウルムチ市はここ数年、中国の西部開発計画の実行に伴って生じた歴史的な機会を確実に捉え、経済と観光に強みをもつ都市の建設に邁進してきました。そのような努力が実り、経済と観光産業は目覚ましい成長を遂げています。現在、都市化を推進力とした持続可能な開発を基本目標に掲げて、調和のとれたウルムチ市の建設に全力で取り組み、住民指向型の開発を効率的に進めています。そのような状況下で、自己向上、開放、寛容、信頼、調和という都市の精神を積極的に育成促進し、ウルムチ市を熱意、愛情、活力、思いやりに溢れた都市に変貌させるべくあらゆる措置を講じるとともに、豊かな社会を構築するという目標達成に向けて努力を続けています。ウルムチ市は、次のことを前提として都市建設を進めています。

#### 1. 地域経済統合と都市化の全面的な推進が、調和のとれた都市建設の実現のための基本であり第1条件となる

調和のとれた都市は本来、進展を続ける都市でなければなりません。経済が停滞すれば、都市の調和が崩れることとなります。しかし、地理的条件の制約が厳しいウルムチ市は、ここ数年、開発の余地が大きく制限されていることや資源の不足などの深刻な問題に直面しています。そのような問題を解決するために、ウルムチ市は近隣の昌江回族自治区との協力を進めています。昌江回族自治区は広大な土地と豊富な資源を有する県です。行政部門の変更を行うことなく、ウルムチ市は昌江回族自治州との協力を通じて、経済統合を推進することで、そのような「制約」による開発制限の大幅な緩和を図っています。

ウルムチ市と昌吉回族自治州はいずれも、主要農業・畜産地域、穀物・綿花生産地、重要な産業基地、貿易の中心地、石油・石炭産出地として、新疆ウイグル自治区の経済・社会開発において重要な役割を果たしています。両地域の経済面での強みは互いに異なっており、相互に補完・協力できる状況にあります。したがって、両地域の資源面での強みを十分に活用するだけでなく、都市連合とし



ての経済波及効果を強化し、両地域間の協力を効果的に促進することで、地域統合による新たな強みを生み出す必要があると考えています。この機会を確実に生かして、両地域の資源と状況を基盤とした開発を進めるとともに、地方偏重主義という狭い考え方を払拭し、ウルムチ市の開発目標と開発形態の見直しを図り、経済構造、産業配置、インフラ整備および都市建設の国内的調整を進めました。その結果、様々な分野を対象とした高水準の科学的開発が実現しただけでなく、実際の相互補完関係と資源の共有を通じて開発が急速に進み、両地域の開発は過去最高の水準に達しています。

その一方で、郊外の農村部を都市計画の対象に盛り込むことで、農村部の開発を促進し、小規模な農村建設を進めています。特に都市経済は近年急速に成長しています。そのような状況から、都市部が農村部を支え、工業が農業を支えるべきであるという要求に応じて、農村部を重視し、都市部と農村部の開発のバランスを取るために、農村経済とプログラムに対する投資を増大させました。さらに、古い村落を解体して団地を新設するプロジェクトを積極的に実行したことで、ウルムチ市の都市化率は90%に達し、調和のとれたウルムチ市を建設する十分な余地と領域が生まれました。

## 2. 都市の特色と持続可能な開発の維持が、調和のとれた都市建設の実現に不可欠な基礎と開発の指針となる

社会主義初期段階において、中国の各都市が直面している重大な問題は依然として生産力の低下にあります。中国西部に位置する都市であるウルムチ市も同様の問題を抱えています。しかし、新疆ウイグル自治区には誇るべき様々な強みと特色があります。第1の強みは豊富な資源です。資源開発によって、資源を効果的に利用・配分できる環境も整備されています。第2の強みは、中国の中央部と西部地区でも有数の高い消費能力です。つまり、市場に対する巨大な潜在力を有しているということです。第3の強みは、国境貿易の開発を進める上で、新疆ウイグル自治区が有利な条件を備えている点にあります。その有利な条件とは、新疆ウイグル自治区が8つの国に隣接していることです。第4の強みは情報伝達と地理的状況にあります。ウルムチ市は、第2ユーラシア鉄道の中心地であるばかりでなく、中国以西に位置する国々の中国に対する出入口にもなっています。したがって、それらの国々に対する輸出コストを大幅に削減することができるわけです。第5の強みは、ウルムチ市の競争力が他国の各都市を上回っていることにあります。ウルムチ市は中央アジアで最も人口が多く、開発の基盤整備が進み、高い潜在的成長力を備えた都市の1つです。さらに、ウルムチ市は他の地域に対し、大きな経済的影響を及ぼす存在にもなっています。

以上のような状況を勘案し、将来の都市開発を進める上で、ウルムチ市を通商・貿易面で近代的な国際都市に変貌させるという長期目標に加え、中国有数の高い経済力を誇る西部都市、さらに中国有数の観光都市にウルムチ市を変貌させるという短期目標を掲げました。その目標を達成するためには、資源面での強みを生かして、産業面での強みにとどまらず、経済面での強みも獲得する必要があります。さらに、第三次産業の開発を推進するとともに、国境地域と2つの国家開発指定地区としての新疆ウイグル自治区の強みを十分に生かして、外国貿易の拡大を図る方針の確立を進めています。

そのような方針に基づいて、第3次産業・第2次産業・第1次産業という産業配置を堅持する一方で、経済構造の見直しと最適化を積極的に進め、貿易、観光産業、製造業などの競争力がある産業の強化を促進する予定です。プロジェクトを推進力、投資を連結力として、さらに開発推進地区・産業推進地区・産業団地を基盤として、最新ハイテク産業、都市産業、輸出指向型の加工産業の開発に重

点を置くことで、新疆ウイグル自治区に巨大な産業集積地区を構築する計画を進めています。

そのような状況から、ウルムチ市は今後、中国西部開発政策の中心地としての役割を十分に果たすことになり、地域物流産業の統合促進、対外経済関係と貿易の拡大を通じて、経済の対外要因に対する依存度を高めることで、中央アジア地域に対する国際「物流基地」に変貌を遂げるものと思われます。さらに、経済成長の質と効率性に十分留意し、市場システムの改革促進と投資環境の改善を通じて、民間部門の急激な開発推進力を維持する予定です。

ウルムチ市の経済面での強みをさらに高めるためには、市場における企業の役割を十分に発揮させることが大切です。新疆ウイグル自治区全体に占めるウルムチ市の総生産額は20%、財政収入は40%以上、消費財販売高は35%以上、輸出入総額は50%以上、投資総額は20%に達しています。新疆ウイグル自治区の上場企業27社の48%に相当する13社がウルムチ市に本拠地を置いています。これまで述べた状況のすべてが、調和のとれたウルムチ市建設に不可欠な確固たる基盤となっています。

### 3. 住民指向型開発の堅持と良好な環境整備が、調和のとれた都市建設のための要件であり主要な原則である

調和のとれた都市建設という概念は、調和のとれた生産関係や社会関係だけでなく、人間と自然が調和した関係も含まれています。調和のとれた都市が意味する状況として、生産関係と生産力の両立、民主主義と法治の融合、公平性と効率性の両立、活力と秩序の両立、科学と文化の融合、人間と自然の融和などが挙げられます。ウルムチ市は都市化と経済発展を促進させる一方で、環境全体の改善を急速に進めており、ここ数年で大きな成果を収めています。

第1に、民主主義と法律制度の整備を積極的に進め、法治原則を遵守しています。政策や施策を現実や客観的な法体系に合致させるだけでなく、民主的な政策決定の促進、政策決定手続きの標準化、政策決定方式の改善、一般住民の意見を反映できる政策決定手段の確立、一般住民が政策決定に参加する機会の拡大などを通じて、民意を反映する政策と手段の確立に努めています。その一方で、法治社会の構築という目標を達成するために、あらゆる手段を通じた法治原則の遵守、法の支配に基づく行政活動の遂行、法に基づく権利の行使と責務の履行、行政法執行に対する監視手段の確立・改善、法に基づく都市統治を促進する健全な法的環境を整備する法治原則の促進に取り組んでいます。

第2に、投資環境改善を目的とした様々な措置を講じています。知識、法律、公平性、サービス提供、効率性および経費節約を重視した都市統治という概念を日々の行政活動に導入し、行政機能の重点をマクロ経済的規制、市場規制、社会的管理、公共サービスに移行することに努めています。さらに、開発資金融資制度の確立も早急に進めています。社会的融資制度の確立を推進するとともに、経済・社会的開発に対する良好な融資環境を整備する措置を通じて、「信頼に足るウルムチ市」を構築する具体的な計画を策定、実施しました。それに加えて、行政活動の内容を一般住民に周知させるシステムを実行し、広報担当官のシステムを確立、改善することで、マスメディアと公衆による監視を広く受け入れる態勢も整えました。このような態勢は、透明性の高い開かれた行政を構築する上で十分な効果を発揮しています。

第3に、重要な分野に社会計画を導入するとともに、十分な経済発展を実現することで社会計画の開発を促進し、一般住民が経済成長に伴う恩恵を実際に享受できる状況を整えました。ウルムチ市は近年、科学と教育を通じてウルムチ市活性化戦略を着実に実行し、教育開発を優先事項とする政策の

具体化、競争力の高い教育資源の統合促進、民間が運営する学校の拡充、科学・技術教育の向上に取り組んでいます。さらに、文化産業面での強みを備えた都市建設という目標を掲げて、文化マネジメントシステム再構築の促進、文化産業の急速な発展、地元の特色を生かした文化的生産物の開発、文化関連インフラの開発促進、ウルムチ市における文化の質の大幅な向上にも取り組んでいます。ウルムチ市に居住するすべての民族を対象とした生活改善を目的として、社会的管理と公共サービス機能を強化し、完全な公衆衛生制度、医療制度、市民の権利・利益保護制度、公衆安全保護制度、緊急援助制度などの確立を進めています。さらに、都市文化の育成と市民の自覚を特に重視しています。ウルムチ市は、イデオロギーならびに道徳、科学、文化および健康において、公衆の質を高めるための措置を絶えず実施しており、それらを通じ、調和のとれた社会の発展や住民全体の育成を促進する環境を整えて参りました。

第4に、開発と環境保護の両立に最善を尽くしています。私達は、ウルムチ市の領域拡大を進めており、都市の「枠組み」と都市開発空間の拡張、中心街の負担軽減を目的としたインフラの整備に全力で取り組んでいます。また、環境保護計画に対する投資を増やし、集中型熱供給プロジェクトを精力的に進めるとともに、クリーンエネルギーの利用を促進したことで、大気汚染防止に大きな成果を収めました。生態環境保護プロジェクトに基づいて、ウルムチ市の美化・緑化事業を急速に展開しています。市の中心部における小規模な公園の建造、周辺の山岳地帯への植林事業に資源を集中的に投入しました。ここ3年で、約1,000に上る路地を新設または再建したことで、住民が往来する際の利便性も高まりました。確固たる循環型経済の確立、資源の総合的利用とリサイクルの推奨を通じて、省エネ型社会の構築にも全力で取り組みました。それらの措置は、ウルムチ市における社会・経済開発に大きく寄与するとともに、調和のとれたウルムチ市を建設する上で確かな基盤を提供しています。

調和のとれた社会とは、互換性のある資源、合理的な社会構造、標準化・体系化された社会的行動、科学的な社会運営方式を備えた社会を意味する概念です。調和のとれた社会を構築することは、一般市民が共通していただく希望にとどまらず、組織的な長期プロジェクトでもあります。そのようなプロジェクトを実現するためには、過去の事例と調査研究の両面から学ぶ必要があります。ウルムチ市は、会員都市の皆様方からお聞きした貴重な経験を生かし、現在の展望と構想の見直しを図ることで、調和のとれた都市を効率的に建設できるものと確信しております。

# 大 連 市

## ◆環境にやさしい都市を目指す大連市◆

戴玉林 大連市副市長

古代シルクロードの北方ルートにおける中枢都市の役割を果たしていたウルムチ市で、都市開発、市民生活、社会福祉について、本日ご出席の皆様方と意見を交換できる機会を与えて頂き嬉しい限りです。海から遠く離れた内陸都市であるこのウルムチ市にて、三方を海に囲まれた沿岸都市、大連市についてご説明したいと思えます。

大連市は100年ほど前、海外の侵略国に本土を占領され資源を略奪されるという植民地の屈辱に甘んじていました。中華人民共和国建国後、大連市は、創設間もない都市として、国家繁栄のために産業を振興させる重要な責任を負うことになりました。改革開放政策が施行されて以来、大連市は、中国で初めて門戸開放を果たした14の沿岸都市の1つとして、急速な発展を続けています。大連市は2001年、イタリアのトリノでUNEPグローバル500賞を受賞し、素晴らしい景観と快適な生活環境を備えた都市として世界的人気を博しております。また、大連国際ファッション祭、大連国際花火大会、大連アカシア祭など様々なイベントも開催しています。

ここ数年の中国経済の急激な成長に伴い、中国の都市化も大幅に進んでいます。しかし、都市化が進むにつれて、都市部の過剰な拡大、人口過密、交通渋滞、環境悪化、エネルギー不足などの「大都市病」も発生しています。そのような状況は大連市にとっても、都市開発方式を選択する上で重大な問題になっていました。GDPの増大のみを追求し、付随して発生する問題に配慮することなく闇雲に事業を開始するという、一部の先進国に見られるような「開発後に環境回復を図る」時代遅れの開発方式を今後も続けるのか、それとも、経済成長と環境保護を調和させることに最善を尽くし、持続可能な開発を進めるのかが問われているわけです。米国の著名な生物学者バリー・コモナー博士は自著『*The Closing Circle: Nature, Man, and Technology*』の中で、米国の経済成長が招いた環境問題について考察した後、中国には、米国の50年前の過ちを再び犯す危険があると述べています。50年前と現在を比較すると、生態環境と世界経済形態の規模や許容範囲はかけ離れています。したがって、もし米国が経験したような環境汚染が現在の中国に蔓延してしまえば、かつての米国とは異なり、回復は非常に困難なものとなるでしょう。大連市は、環境保護を実現する責任と機会に直面したことで、大連市を環境にやさしい都市に変貌させるという穏やかかつ賢明な決断を下し、過去10年にわたり、その目標の実現に全力で取り組んで参りました。

環境にやさしい都市という考え方は、都市開発における新しい概念であり、世界各国の都市開発目標として今日広く認められている概念でもあります。その目的は、生態学的経済原理とシステム工学手法の導入、旧来の生産・消費様式や意思決定・管理方式の転換です。また、入手可能な資源の十分な活用を通じ、生態環境が許容する範囲内での合理的で効率的な経済システムに加え、望ましい循環形態、調和の取れた健全な文化、快適な生活環境を備えた生態システムを構築することにあります。大連市を環境にやさしい都市に変貌させる上で、美しい周辺環境が大きな強みになると思えます。それと同時に、土地資源、水資源、エネルギー資源における弱みを早急に改善する必要があります。

環境保護に対する大連市の公約は、「最大限の努力とは言えないまでも、最善を尽くす」という発想に由来するものと考えられます。その公約を掲げることで、大連市は生態環境保護分野で中国を先導する役割を果たしています。科学的開発という概念を前提に環境にやさしい都市づくりという発想を育成することで、大連市は現状を脱却し将来の夢の実現を目指しています。

環境改善を前提とした都市開発を進める中で、大連市が辿ってきた道を振り返ると、環境汚染を抑制し都市機能を強化する4つの事業、すなわち工場撤去事業、緑化・美化事業、住宅供給事業、汚染抑制事業に重点を置かざるを得ない状況にありました。それらの事業を1990年代に実行したことで、環境にやさしい大連市都市開発の第1段階は完了しました。その段階は大連市にとって、環境にやさしい都市開発に関する知識と経験を蓄積した時期と言えるかと思います。その時期に蓄積された知識と経験は、大連市が合理的で調和の取れた環境にやさしい都市開発手法を確立する基礎となっています。

大連市当局は過去5年にわたり、科学的開発という概念を具体化するとともに、環境にやさしい都市開発を、持続可能な開発における重要な戦略と位置付けています。大連市は、環境に対する配慮を都市計画のあらゆる側面に組み入れ、生態学的観点から都市開発と都市経済の質を評価しています。さらに、環境にやさしい都市開発に関する一連の計画とプログラムを策定しました。その計画やプログラムの目的は、市民生活と経済発展の調和を図る指針と具体的要件、製品構成に基づく産業構造の統合、環境保護に基づく天然資源の開発活用などを実現することにあります。大連市は、都市計画と意思決定の過程で経済発展、社会発展、環境保護の間の調整と整合性を維持することを重視し、大きな成果を上げています。そのような方針と具体的な措置は以下の通りです。

#### 科学的手法に基づく計画の策定および優れた実行手段を確立する

第10次5ヵ年計画対象期間の初年度に、大連市は「大連市の環境保護・開発計画に関する概要」を発表しました。2004年には、「大連市の環境保護強化に関する意見書」を提出するとともに、環境保護に重点を置いた「大連市開発計画」を策定しました。それらはすべて、大連市の環境開発に関する青写真を構成するものです。同時に、補助金制度、課税免除措置、金融信用補完制度、市場参入支援など積極的な産業政策を実施し、環境保護関連の企業や技術の開発促進を目的として、様々な資金調達手段を提供する基盤を確立しています。大連市では現在、環境保護関連企業287社が事業を展開しており、その年間総収入は36億元に達しています。さらに、淡水資源不足の解消を目的とした英那貯水池の拡張事業も完了しています。また、複数の下水処理場と廃棄物処理場の建設に加えて、暖房設備、ガス供給設備、照明設備、公共交通機関の改善も実施しています。大連市は過去10年にわたり、GDPの2.57%を上限として、環境保護関連予算に毎年GDPの2.3%を計上しています。

#### 経済構造の調整を図り、合理的な産業配置を形成する

第1段階として、汚染物質を排出する工場を撤去もしくは改修する対策を実施する一方で、従来の産業配置に関する大幅な調整、都市のネットワークと機能の再構成、土地資源配分の最適化を実施しました。また、再調整と再構築の過程で循環経済開発方式を実行するとともに、企業に対して、資源を最大限に活用し、廃棄物の発生を最小限に抑える措置を講じることで、無公害生産を実現するよう指導しました。新設された産業団地には緑地帯だけでなく、集中暖房設備や下水・固形廃棄物処理を

集中管理する施設も配備されています。第2段階として、独自の変革を通じて、付加価値が高く環境を汚染しない省エネ型のハイテク産業を積極的に開発することで、産業構造と製品構成の最適化を図りました。特に、ソフトウェア産業についてはゼロからの出発でしたが、5年に及ぶ育成開発によって、大連市は、北東アジア地域におけるソフトウェア産業と情報産業の拠点となりました。さらに、世界的企業500社が集結しているソフトウェア団地内に、国内アニメ産業基盤を構築することに加えて、55万枚の生産能力を備えたLEDチップエピタキシャル薄膜生産事業用の照明産業団地の建設も開始しました。大連ソフトウェアパークは2008年までに、年間売上高100億元と輸出総額6億米ドルを達成するとともに、その収容能力は企業300社と社員5万人を上回る規模に達するものと推定されています。大連市が環境にやさしい都市開発を進める中で、大連ソフトウェアパークは環境にやさしい都市のモデル地区となっています。

#### 開発と管理を強化する措置を実施し、環境汚染を十分に抑制する

大連市の都市緑化事業の最終目標は、「環境にやさしい都市、森林に覆われた郊外地区、街路樹のある中心街、公園を思わせる住宅街の創生」にあります。都市緑化システム全体を構成する主な要素は、森林公園、リゾート地、景勝地、自然保護区、森林保護区、農地保全地区です。大連市は過去5年にわたり、936万1,000㎡の緑地を新規拡張し、611万本の樹木を植林し、約20箇所の地区公園とレクリエーション施設を建設しました。その結果、住民1人当たりの公共緑地面積は10.1㎡、市街地の緑化率は42.3%に達しています。

大気環境について申し上げますと、大連市はかつて、石炭燃焼煙と自動車排出ガスによる深刻な大気汚染に悩まされていました。そのような大気汚染を改善すべく、大連市は次のような措置を講じました。第1に、大気汚染源を制御する試みとして、集中暖房設備と自動車排出ガスの浄化技術・装置の導入を奨励しました。第2に、汚染物質を排出する工場の撤去や改修を進めて、産業性汚染物質の総排出量を大幅に削減しました。その結果、大気環境は飛躍的に改善されるに至りました。都市部における大気の質は2級を上回る水準となり、1級を記録する日数も年間100日に達しています。第3に、大連市当局は、新規計画事業に参入する企業に関する基準を引上げ、環境評価基準を満たしていない企業の参入を却下する協定を締結しました。2004年には、建設計画6,818件と建設事業3,602件の検査・認可を行いました。環境評価基準を満たしていない建設事業324件に関する認可を却下しました。

大連市当局は、生態環境の質に重大な悪影響を及ぼす廃棄物処理問題の解決を重点課題に掲げています。建設廃棄物、医療廃棄物、自動車洗浄後の排水は定期処理の対象となっています。家庭ゴミについては、「ゴミ回収・撤去時刻を指定し、搬出されたゴミを速やかに撤去する」管理方式で処理されています。同時に、廃棄物の削減、リサイクル、無害化を目的とした様々な処理方法を活用しています。

#### 調和の取れた開発という概念を堅持し、健全な文化環境を育成する

市民の質の高さは、調和の取れた社会を構築する上で重要な要素となるものです。市民の質の向上を図るために、大連市当局は次の2つの方策を進めています。第1の方策は、市民の教育水準の引上げを目的として、教育関連予算を増大させることです。バランスの取れた義務教育開発を目的とした特別基金の設立のため、1,000万元の予算を計上しました。さらに、農村部における小中学校の共同基

金に補助金を交付するため、2,300万円の予算を追加計上しました。大連市当局は現在、市内全域を対象とした遠隔教育システム確立を目的に、8,000万円の予算を計上しています。第2の方策は、現在の大連市の都市部人口200万人のうち、高等教育修了者を20万人まで引上げることです。都市計画、建設、運営など様々な都市整備問題に対処する際、意思決定過程に市民を参加させるための公聴会を開催する計画を進めています。市民は資金調達、生産活動、消費活動の主体となる存在です。したがって、市民が多く社会活動に幅広く参加する状況を確認することにより、様々な年齢、経歴、職業、階層の市民が、大連市の強みと弱み、成功と挫折を実感し、そのことが連帯感の強化と調和の取れた社会の構築に大きく貢献するものと確信しています。

2年前のサミットの席上で、「経済的活力が大連市を景観都市に変貌させ、景観を資本に変える」と述べ、大連市を最大の経済的活力を誇る都市として紹介したことを思い出します。社会学的観点から考えますと、大連市を景観都市に変貌させることが、ひいては大連市民の質を全体的に上げる原動力につながると言えるのではないのでしょうか。ここで簡単な例を引用させていただきますと、大連市内を走るバスには車掌が乗車していません。乗客は前扉からバスに乗り、後扉から降りる形式になっています。大連市を初めて訪れた人は、バスを待つ列に整然と並んでいる市民の姿を見て驚かれるようです。都市理論上、市民の質と都市環境の間に比例関係が存在するという結論は示されていませんが、大連市の都市開発の現状を考えると、その関係はすでに立証されているように思われます。

本年1月の大連市当局が作成した公報の中で、私は、環境にやさしい都市開発を大連市の最優先目標に掲げることを宣言しました。現在、「環境にやさしい都市を目指す大連市総合計画」とその目標達成手段に関する検討・承認作業が進められています。今後5年以内に、大連市は、5段階からなる枠組みを通じて、人口過密と土地不足問題に対処し、適切な人口分布と科学的な土地利用に関する合理的な運用基盤を確立する予定です。また、産業構造とエネルギー供給構造の調整を通じて、循環経済と再生可能なエネルギー産業の開発を促進し、環境にやさしい省資源型経済成長方式を確立する計画も進めています。さらに、社会的セーフティネットの強化、社会福祉政策の進展、治安の向上、社会的救済措置の普及などを通じて、人間開発に重点を置いた人道的精神の育成と調和の取れた社会の構築を目指しています。以上に加えて、環境面での質の向上とインフラ整備、事業経費の削減、投資機会の創出、家計所得の増大などを通じて、市民生活、事業経営、事業発展に適した近代的大都市を構築する計画も進めています。

大連市の将来を考えると、市長としての責任の重さを感じざるを得ませんが、ひとりの市民の立場からすれば、活力と生命力に満ちた大連市に、私は大きな信頼を寄せております。

最後になりましたが、大事なことを申し述べたいと思います。皆様方を大連市に招待し、大連国際ファッション祭や大連国際花火大会で、大連の少年少女たちと共に活気ある雰囲気を楽しんで頂きたい、そして大連アカシア祭で、甘い香りを満喫して頂きたいと考えています。そうすれば、大連市が美しさと新鮮さに満ちた環境にやさしい都市であることを実感して頂けるものと確信しております。